

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～布ぞうりを通じて～サステイナブル発信プロジェクト
事業主体 (連絡先)	ZORIYA
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	607,184 円 (うち支援金: 384,000 円)

事業内容

布ぞうりづくりを通して、ごみの排出抑制と資源化を測り、資源を大切に、サステイナブル(持続可能で包摂的な社会の実現)に寄与することを目指す。

- ・布ぞうりの会33回開催
- ・南信州天竜峡マルシェ参加(10/23)
- ・南信州環境メッセ参加(11/5～6)



【布ぞうり教室の様子】

【目標・ねらい】

- ①布ぞうり作成に、廃棄される生地を再利用ゼロカーボン、継続可能な社会実現を掲げる。
- ②布ぞうり教室を通し資源を大切にしていけることの重要性を伝える。
- ③布ぞうり文化の継承をしていく。

事業効果

- ①教室に参加者全員が自らリユース、アップサイクルを行うことでゼロカーボンへの意識向上を図ることができた。
- ②南信州環境メッセ参加に参加し、布ぞうりについて、コンセプト、サステイナブル、ゼロカーボンへの取り組み、アップサイクルの重要性についてなど多くの人に周知してもらうことができた。
- ③南信州天竜峡マルシェ参加して、パンフレットを配ることにより、会を周知してもらうことができ、布ぞうり教室に3名の参加ができた。

広報活動

- 南信州新聞(2023年1月25日付け)記事
- 中日新聞(1月31日付け)記事
- SBC(2月3日、3月19日)放送で、会についてインタビュー放送

※自己評価【A】

【理由】

布ぞうりの会33回開催昨年対180%を達成。布ぞうり教室の参加者も増加。活動を通して資源を大切にしていける必要性を伝え、ゼロカーボンへの意識づけに寄与できた。

今後の取り組み

布ぞうり教室を開催することにより、廃棄される布を使って、布ぞうりを作ることで今までリユース、アップサイクルをした経験のない人たちがゼロカーボンへの取り組み、アップサイクルの重要性に意識を傾けてくれた。今後も布ぞうり教室を開催していき、より多くの人たちにサステイナブル(持続可能で包摂的な社会の実現)に寄与していく重要性を知ってほしい。